

訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
3	目次	TRY⑥災害に強い都市をつくろう	TRY⑥災害に強い都市計画をつくろう
6	●登場人物の プロフィール	(りく・うみの高校入学年の高校進学率) 98.8% (2020年)	98.9%
17	図 1	<添付別紙 1 参照>	<添付別紙 2 参照>
25	図 9	<添付別紙 3 参照>	<添付別紙 3 参照>
26	図 5	<添付別紙 3 参照>	<添付別紙 3 参照>
33	発表しよう	④地図を活用して、出店計画のプレゼンをしよう。	⑤地図を活用して、出店計画のプレゼンをしよう。
44	図 3	<添付別紙 4 参照>	<添付別紙 5 参照>
47	図 4 (地域別輸入 割合)	<添付別紙 6 参照>	<添付別紙 6 参照>
57	ワンモア ステップ	肉を使う場合には、何の肉を使うとよいかも考えよう。	肉を使う場合には、何の肉を使うとよいかも考えよう。
65	図 10	たきぎ 薪などの燃料	まき 薪などの燃料
68	図 5	<添付別紙 6 参照>	<添付別紙 6 参照>
74	図 1	<添付別紙 6 参照>	<添付別紙 6 参照>
75	左段 1	変動帯と安定陸塊	変動帯と安定地域
75	左段 14-20	このような地域を安定陸塊(安定大陸、安定地塊)とよぶ。南極横断山脈などのように、かつてのプレート境界につくられた山脈が、プレートの境界でなくなった長い時代を経たあとも高い標高を保っている例もあることから、安定陸塊が必ずしも平坦であるとは限らない。海底では、海嶺と海溝が変動帯に相当し、広い大洋底の大部分は安定陸塊に相当する(図4・6)。	このような地域を安定地域とよび、安定陸塊と古い山脈をふくむ。南極横断山脈などのように、かつてのプレート境界につくられた山脈が、プレートの境界でなくなった長い時代を経たあとも高い標高を保っている例もあることから、安定地域が必ずしも平坦であるとは限らない。海底では、海嶺と海溝が変動帯に相当し、広い大洋底の大部分は安定地域に相当する(図4・6)。
75	右段 10	安定陸塊の地形と資源	安定地域の地形と資源
75	右段 11-17	安定陸塊には古い時代の岩石からなる楯状地(盾状地)や、楯状地がより新しい時代の岩石におおわれた卓状地が発達する。変動帯では河川の堆積作用がつくった平野(堆積平野)が広く分布するのに対し、安定陸塊では河川などの侵食によって形成された平野(侵食平野)が広くみられる。また、安定陸塊の楯状地には鉄鉱石の鉱床が広く分布する。	安定地域には古い時代の岩石からなる楯状地(盾状地)や、楯状地がより新しい時代の岩石におおわれた卓状地が発達する。変動帯では河川の堆積作用がつくった平野(堆積平野)が広く分布するのに対し、安定地域では河川などの侵食によって形成された平野(侵食平野)が広くみられる。また、安定地域の楯状地には鉄鉱石の鉱床が広く分布する。

訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
75	トピック 2	世界の大地形を安定 ^{りくかい} 陸塊と変動帯に分類	世界の大地形を安定地域と変動帯に分類
75	図 6	<添付別紙 7 参照>	<添付別紙 8 参照>
79	図 5	<添付別紙 9 参照>	<添付別紙 9 参照>
81	3-7 復習マーク	<添付別紙 9 参照>	<添付別紙 9 参照>
88	図 2・3	<添付別紙 10 参照>	<添付別紙 11 参照>
93	図 8	<添付別紙 12 参照>	<添付別紙 12 参照>
97	図 6	<添付別紙 12 参照>	<添付別紙 12 参照>
116	図 1	<添付別紙 13 参照>	<添付別紙 14 参照>
125	図 5	<u>チェルノブイリ</u>	<u>チョルノービリ (チェルノブイリ)</u>
131	図 6	<添付別紙 15 参照>	<添付別紙 15 参照>
137	図 7	<添付別紙 15 参照>	<添付別紙 15 参照>
141	図 4	<添付別紙 15 参照>	<添付別紙 15 参照>
144	図 2	<添付別紙 16 参照>	<添付別紙 16 参照>
144	図 2 キャプション	<添付別紙 16 参照>	<添付別紙 16 参照>
151	図 4	<添付別紙 16 参照>	<添付別紙 16 参照>
159	右段 9-11	油やしからとる <u>パーム油</u> の生産量は、2000 年から 2010 年の間だけで 2 倍近くに拡大し、近年では世界全体の 8 割をこえる <u>パーム油</u> がこの 2 国で生産されている	油やしからとる <u>パーム油</u> の生産量は、2000 年から 2010 年の間だけで 2 倍近くに拡大し、近年では世界全体の 8 割をこえる <u>パーム油</u> がこの 2 国で生産されている
159	図 8	<添付別紙 17 参照>	<添付別紙 17 参照>
161	図 7	<添付別紙 17 参照>	<添付別紙 17 参照>
163	図 8	<添付別紙 17 参照>	<添付別紙 17 参照>
164	図 3	<u>ブリズベン</u>	<u>ブリズベン</u>

訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
166	図 2	<添付別紙 18 参照>	<添付別紙 18 参照>
166	図 4	<添付別紙 18 参照>	<添付別紙 18 参照>
168	考えよう	①インドの水不足の解決策として、 <u>あなたが考えられること</u> を書き出してみよう。	①インドの水不足の解決策として、 <u>考えられること</u> を書き出してみよう。
176	図 4	<添付別紙 19 参照>	<添付別紙 19 参照>
211	図 7	<添付別紙 19 参照>	<添付別紙 19 参照>
212	第 1 問 問 1	ウ：地震があまり発生していないことから、 <u>安定陸塊</u> （ <u>安定大陸</u> ）に位置する C の範囲だろう。	ウ：地震があまり発生していないことから、 <u>安定地域</u> （ <u>安定陸塊</u> ）に位置する C の範囲だろう。
222	さくいん	安定 <u>陸塊</u> （安定 <u>大陸</u> ）	安定 <u>地域</u> （安定 <u>陸塊</u> ）
巻末 4	図 14	国名の <u>下</u> の数値は消費量	国名の <u>右</u> の数値は消費量
巻末 9	鉄鉱石	安定 <u>陸塊</u>	安定 <u>地域</u>
巻末 10	世界の国々	<添付別紙 20 参照>	<添付別紙 20 参照>
巻末 10	ヨーロッパ拡大図	<添付別紙 20 参照>	<添付別紙 20 参照>
巻末 10	地球の表面積	5 億 1007 万 <u>km</u>	5 億 1007 万 <u>km²</u>

図1 経度0度を中央にしたメルカトル図法の世界地図

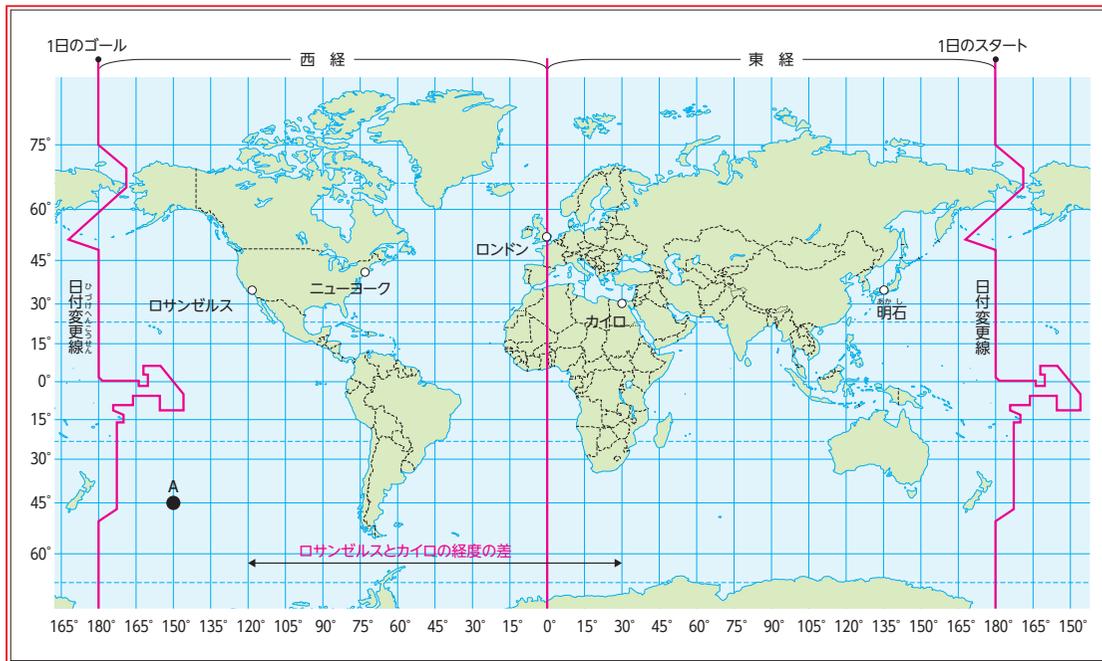
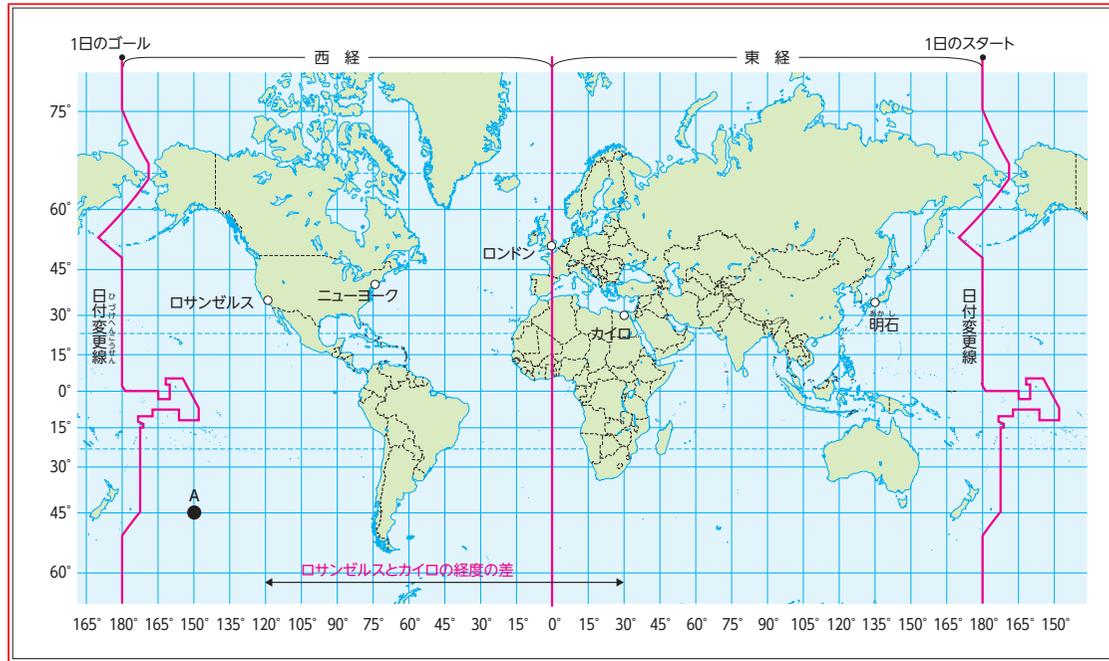
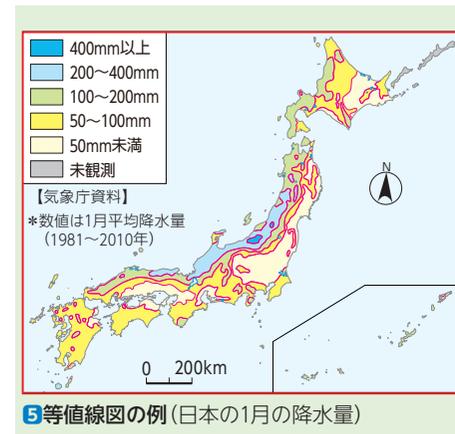
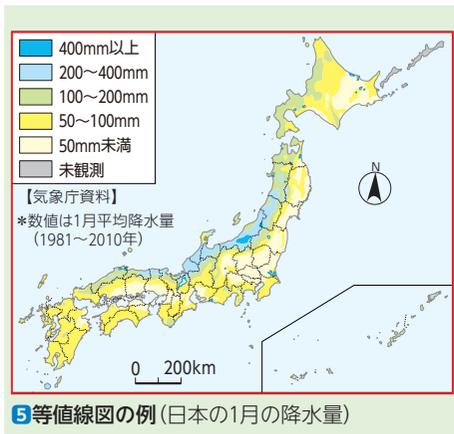
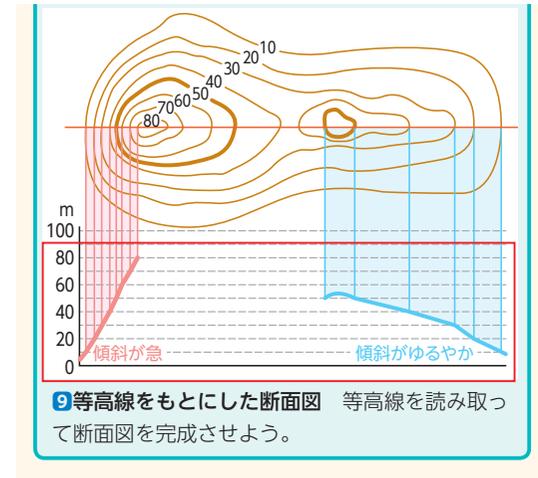
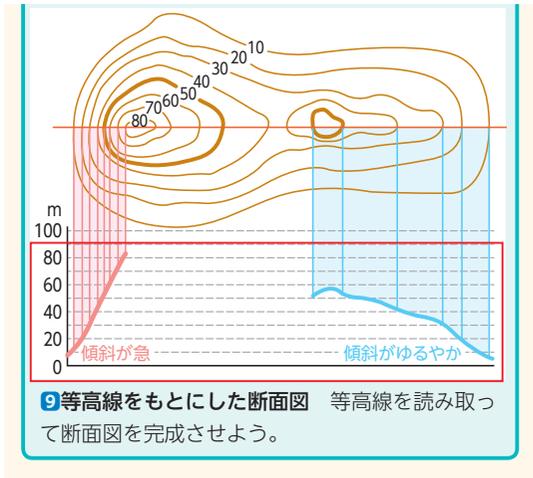


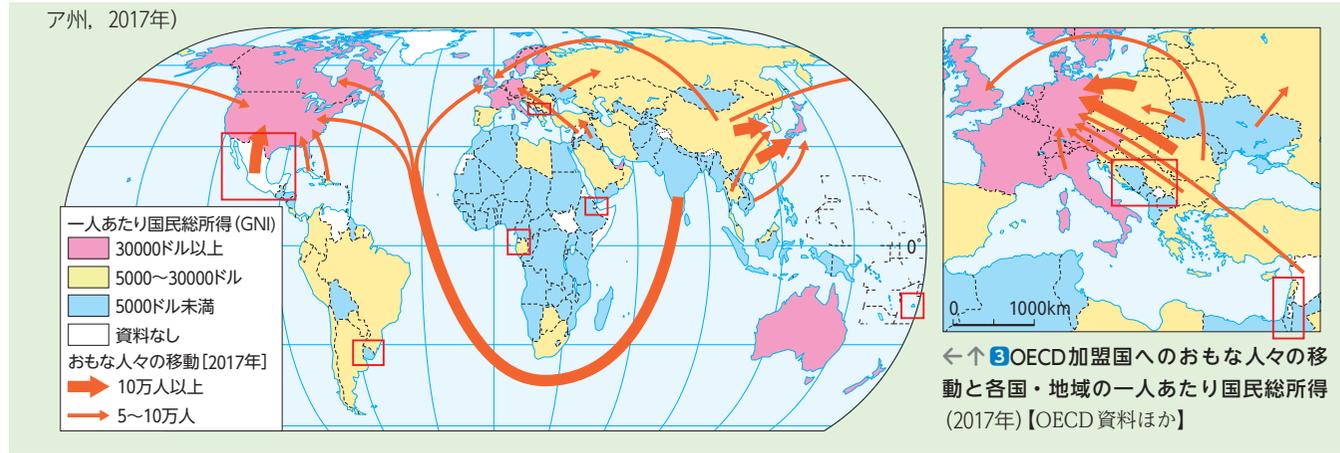
図1 経度0度を中央にしたメルカトル図法の世界地図



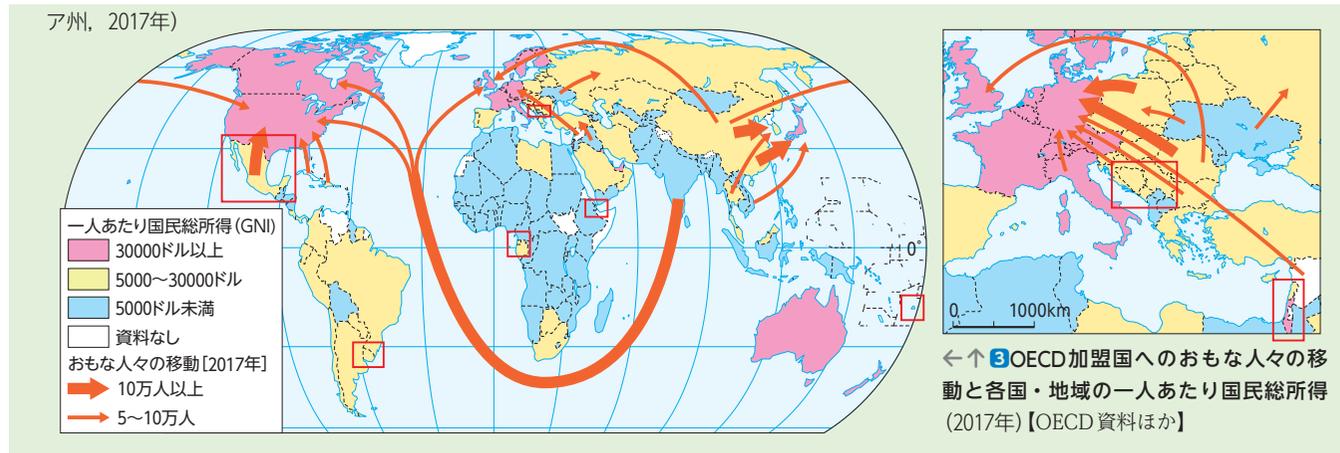
原文

訂正文

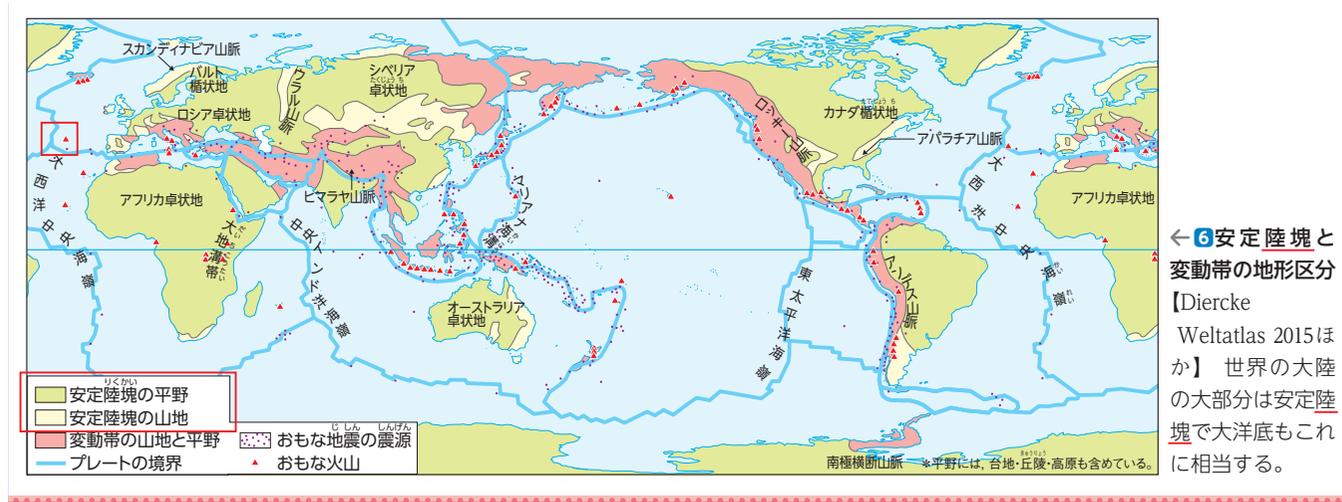




訂 正 文

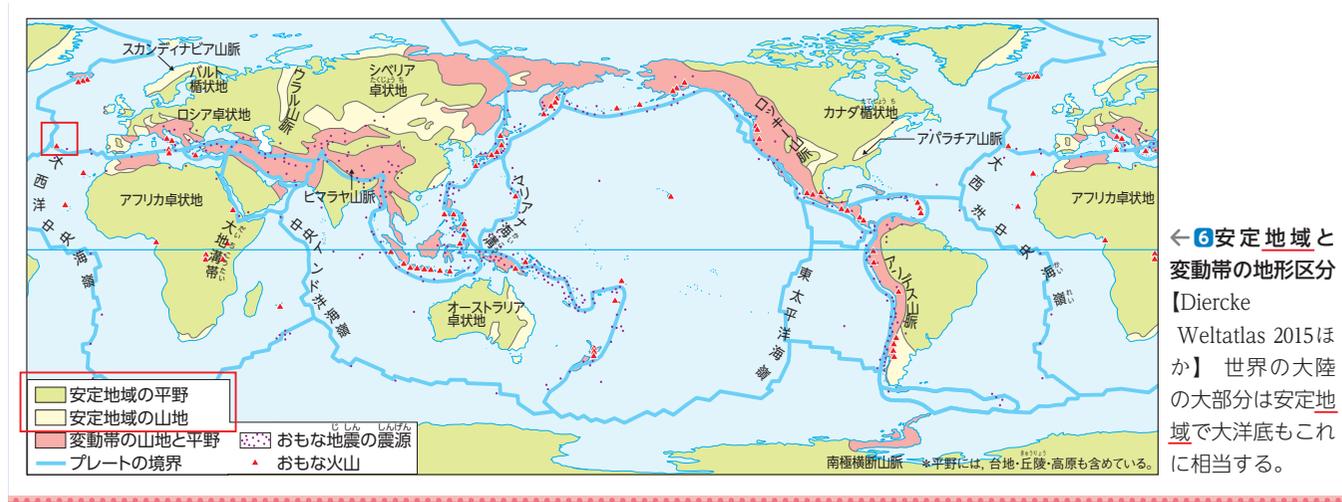


原文



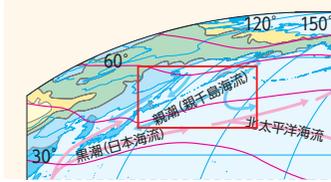
← ⑥ 安定陸塊と
 変動帯の地形区分
 【Diercke
 Weltatlas 2015ほ
 か】 世界の大陸
 の大部分は安定陸
 塊で大洋底もこれ
 に相当する。

訂 正 文

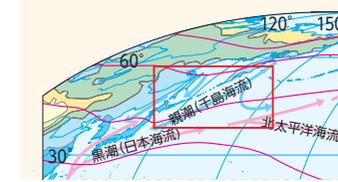


← ⑥ 安定地域と変動帯の地形区分
 【Diercke Weltatlas 2015ほか】世界の大陸の大部分は安定地域で大洋底もこれに相当する。

原文



訂正文



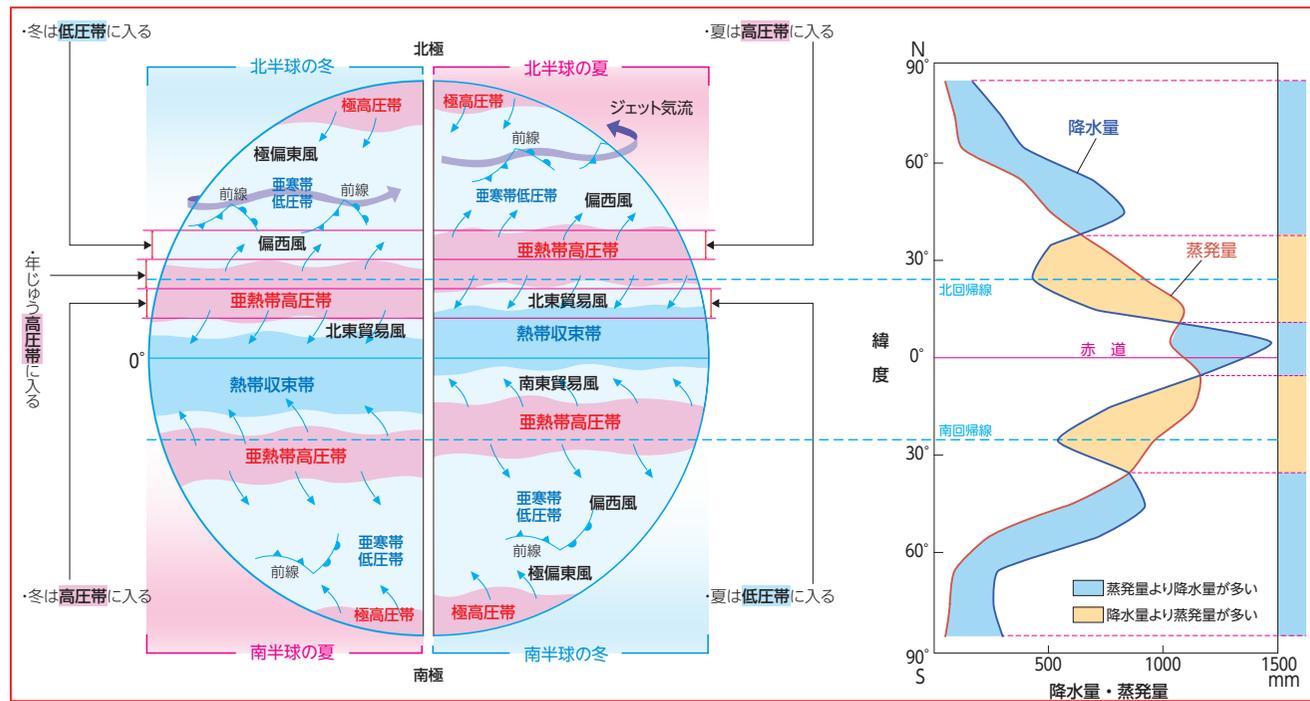
農地などでは、土壤の侵食や流出の影響を受けやすい。

5 **復習** 人々の暮らしと農業 一年を通じて気温が高い熱帯では、風通しのよい半そでの衣服が好まれるが、強い日差しを防ぐため長そでの衣服を着ることも多い。住居は風通しをよくし、湿気や雨の浸入を防ぐ工夫がされており、湿気や

農地などでは、土壤の侵食や流出の影響を受けやすい。

5 **確認** 人々の暮らしと農業 一年を通じて気温が高い熱帯では、風通しのよい半そでの衣服が好まれるが、強い日差しを防ぐため長そでの衣服を着ることも多い。住居は風通しをよくし、湿気や雨の浸入を防ぐ工夫がされており、湿気や

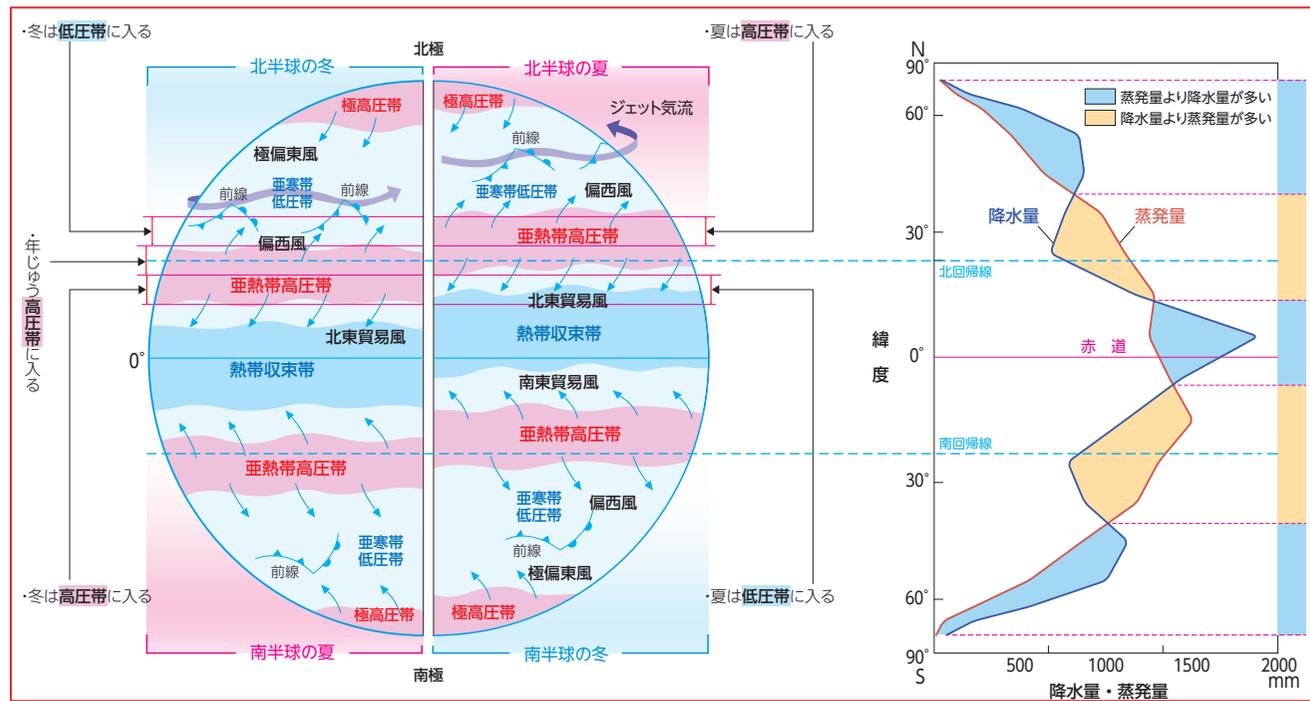
原文



2 大気の大循環の模式図【著者原図】

3 緯度別の年降水量と蒸発量【『気候学』ほか】

訂 正 文

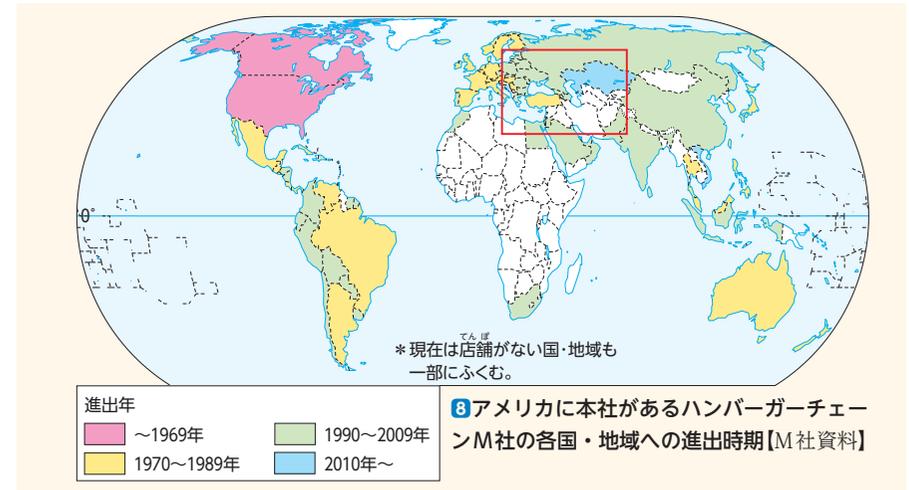
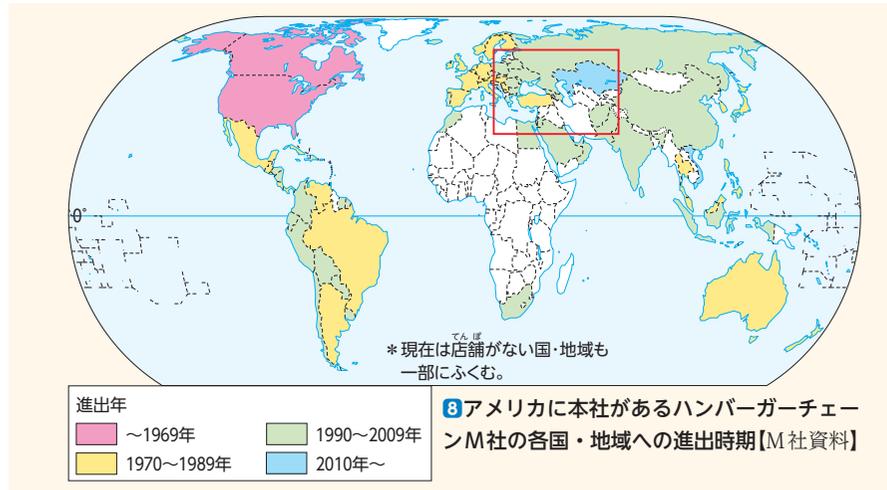


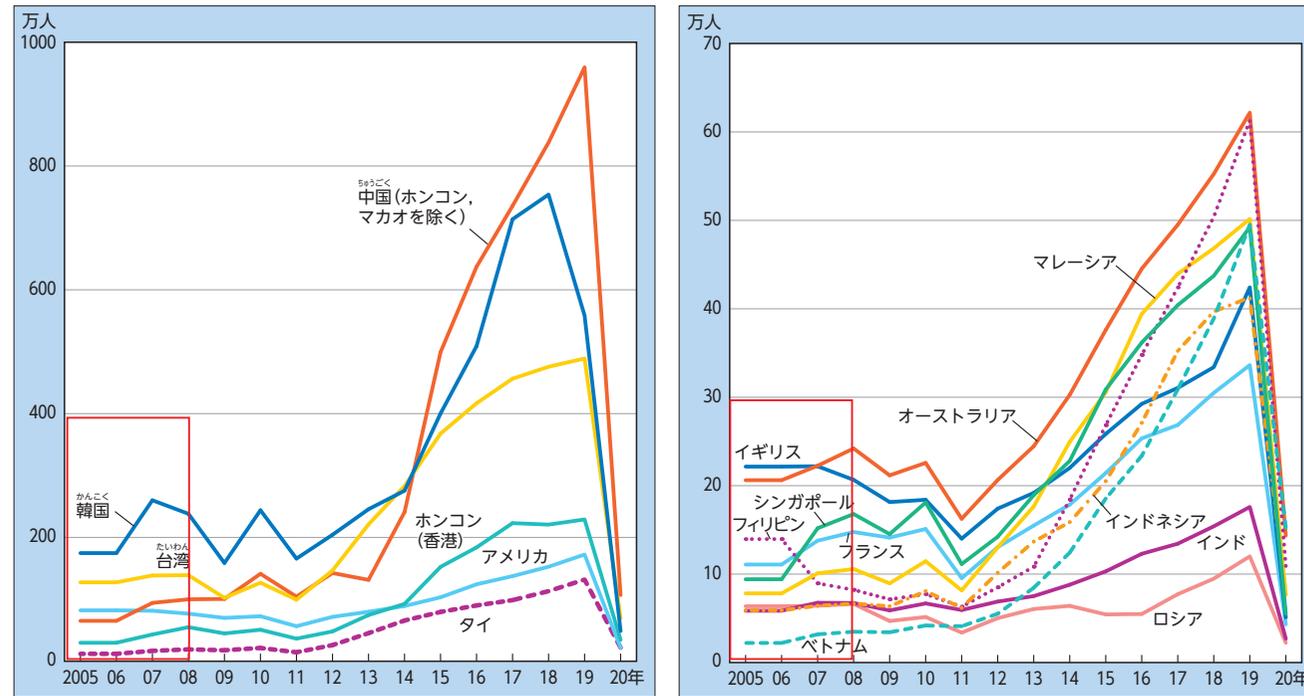
2 大気の大循環の模式図【著者原図】

3 緯度別の年降水量と蒸発量【『気候学』ほか】

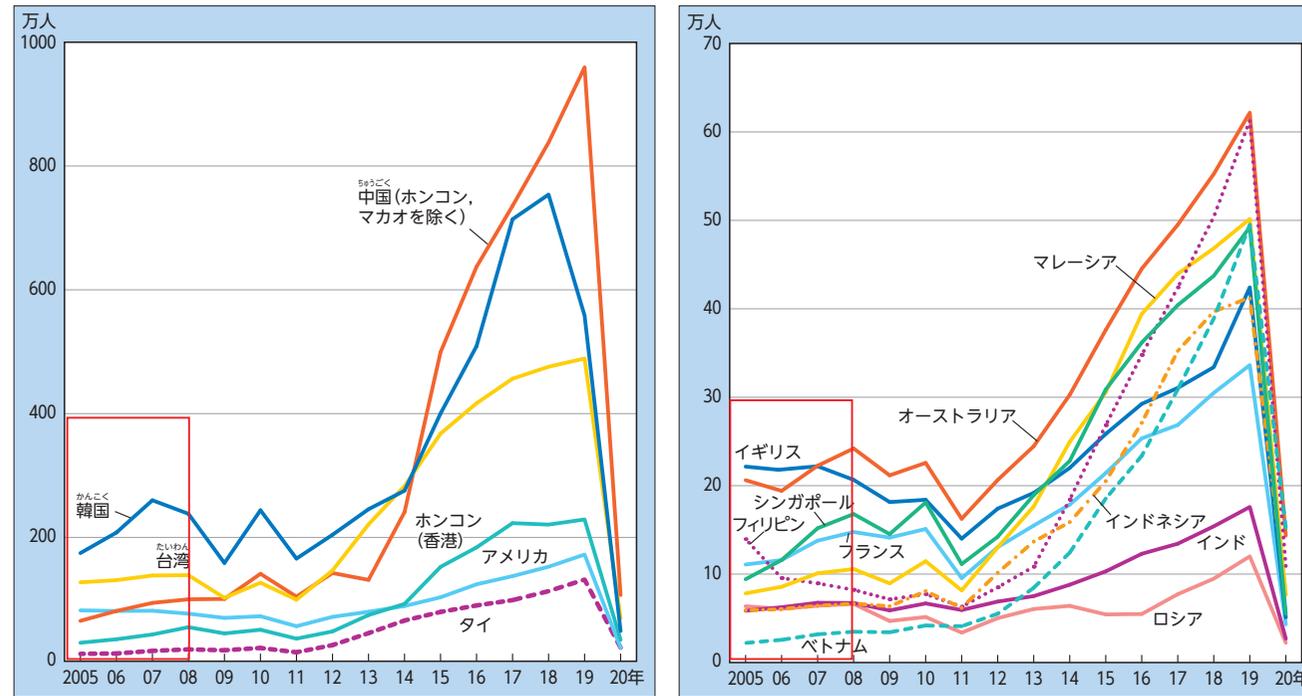
原文

訂正文





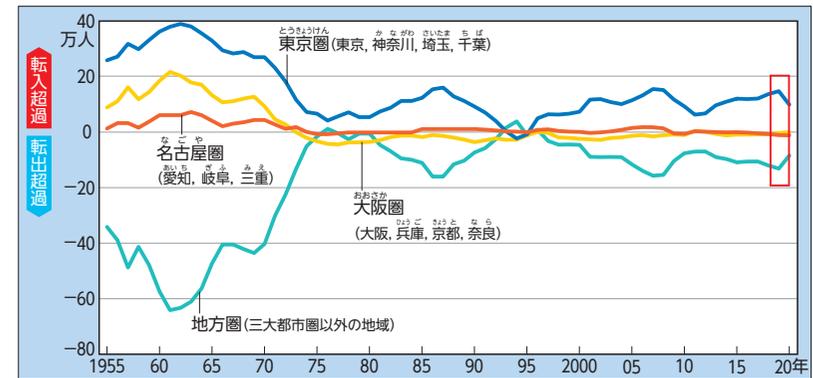
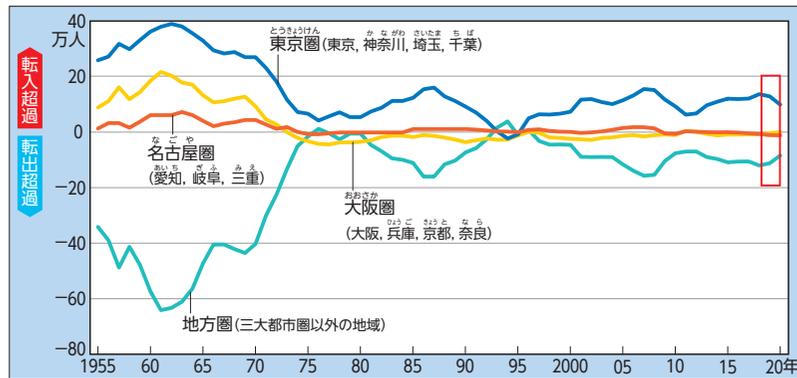
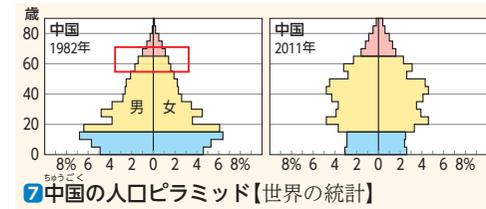
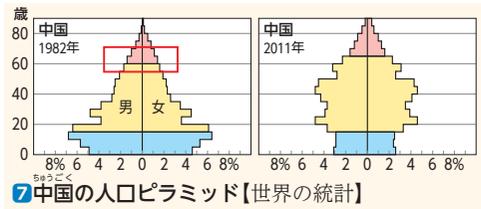
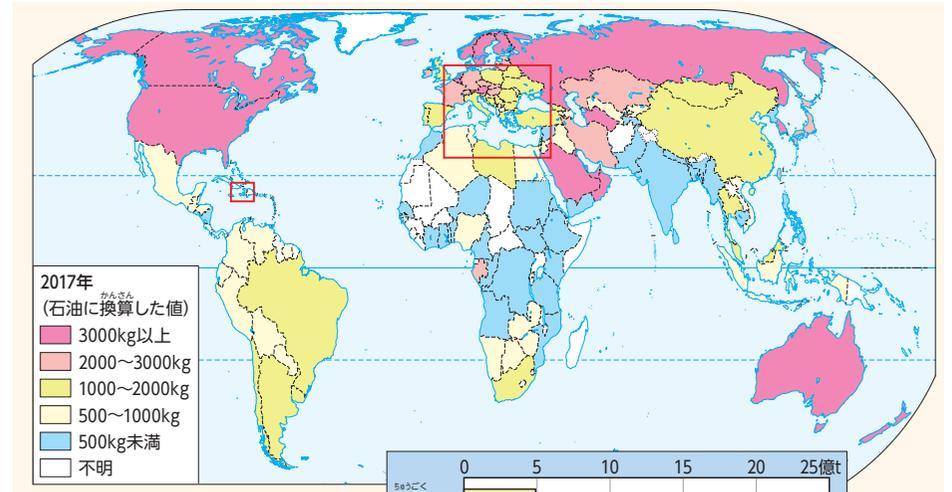
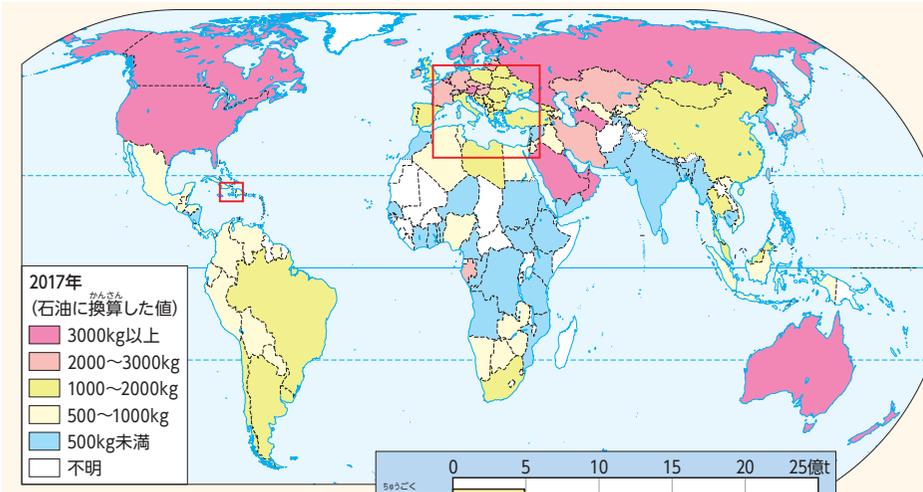
①おもな国・地域の訪日外国人旅行者数の移り変わり【日本政府観光局 (JNTO) 資料】 左は2019年の旅行者数が100万人をこえる国・地域、右はその他のおもな国々を示している。2020年には新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、観光客数が激減したことが読み取れる (p.45)。



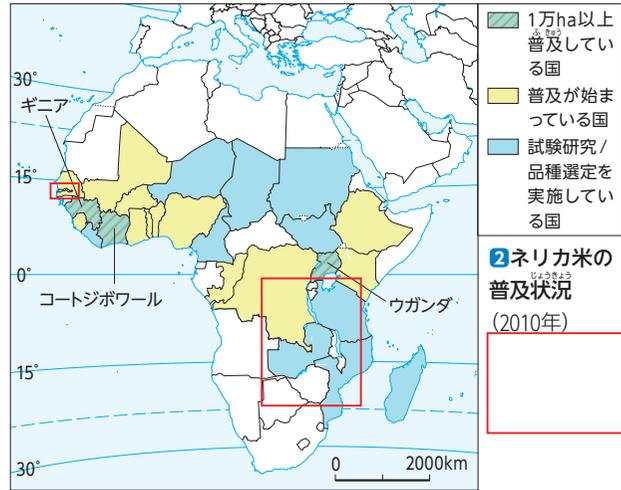
①おもな国・地域の訪日外国人旅行者数の移り変わり【日本政府観光局 (JNTO) 資料】 左は2019年の旅行者数が100万人をこえる国・地域、右はその他のおもな国々を示している。2020年には新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、観光客数が激減したことが読み取れる (p.45)。

原文

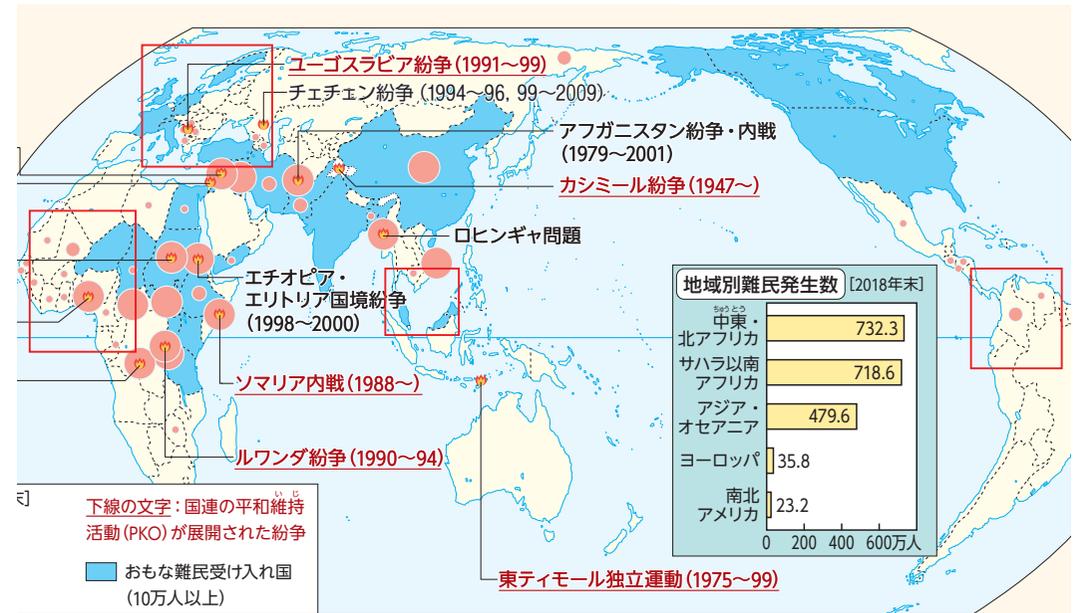
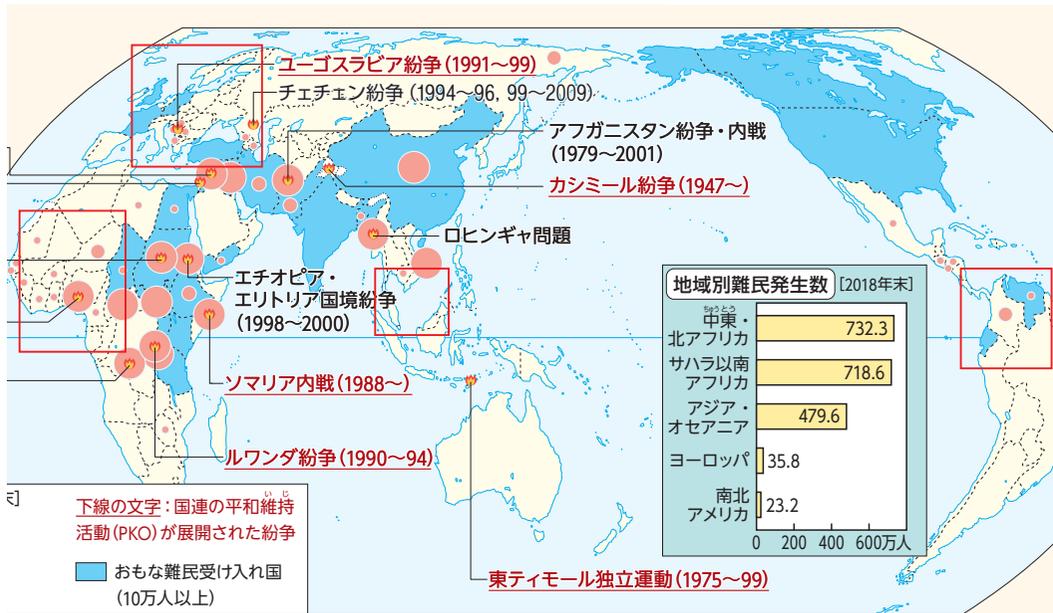
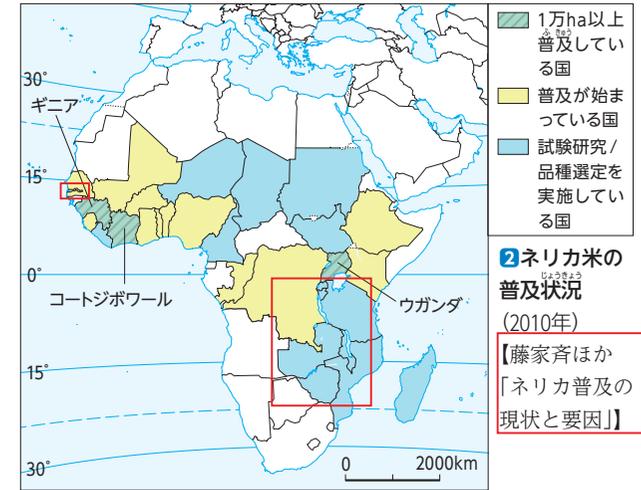
訂正文



原文



訂正文



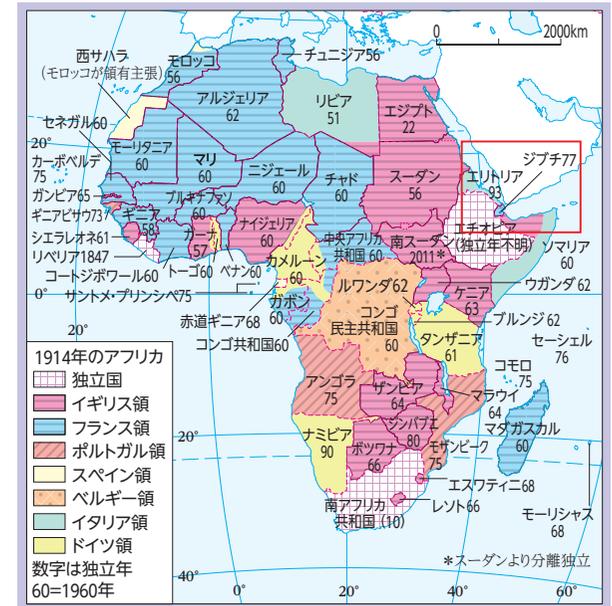
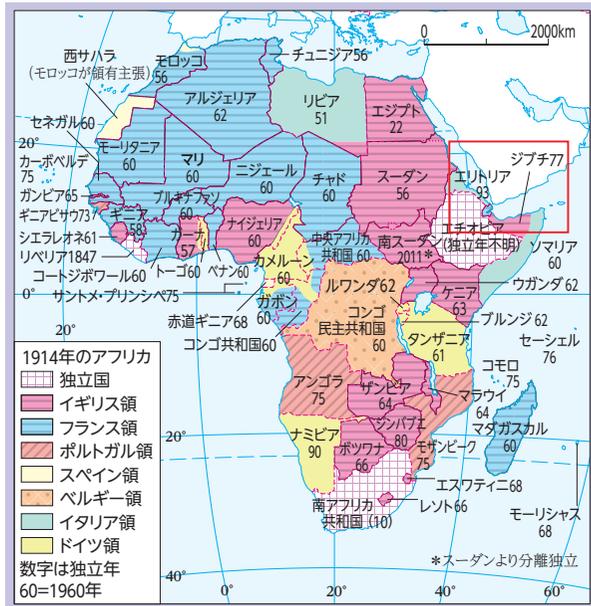
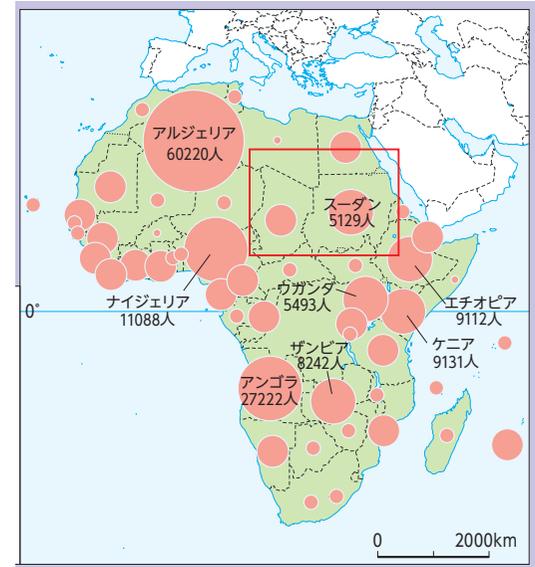
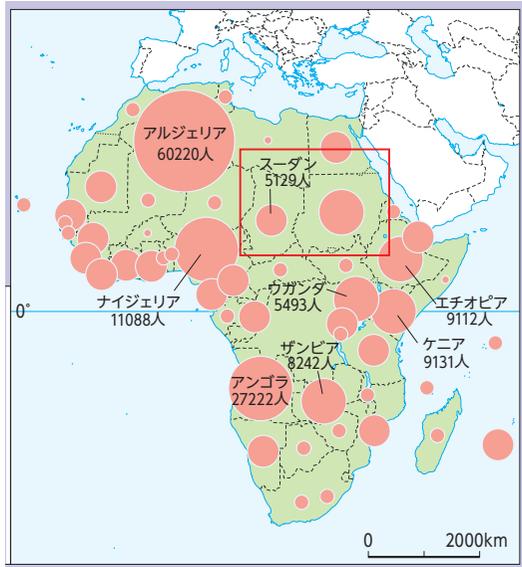
原文

訂正文



原文

訂正文





松戸市市街地の洪水対策 ○高等学校1年 A班

キーワード：松戸市、市街地、地形、水害、洪水対策

研究目的

- 松戸市の市街地の地形の特徴と水害発生との関係について明らかにする。
- 水害の危険性の高い場所においてどのような対策がなされているのかを明らかにする。

研究方法

- 松戸市の地理的特性について、**文献やインターネットを用いて調査**を行う。
 - 「松戸市史」、(市勢要覧)、松戸市ホームページ
- 市街地の洪水対策の現状について、聞き取り調査を行う。
 - 市役所職員、新豊川岸自治会所属住民を対象

調査の手順

<p>★文献調査の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川沿いの海拔高度は5m以下。 ・河川の航行が激しい。 ・川沿いは水害の危険性がある。 ・中小河川が縦横に流れる。 <p>↓</p> <p>調査から見えてきたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低地帯で、洪水が起こりやすい。 ・人工堤防以外の洪水対策が不明である。 ・避難経路が不明である。 	<p>★聞き取り調査の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難指示の徹底などを認めることで市民の防災意識を高めるための取り組みを行っていた。 ・古くからこの地区に住んでいる住民は、日ごろから互いに助け合う関係を築いている。 <p>↓</p> <p>調査から見えてきたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体では、人々の防災意識を高めるための様々な取り組みを行っていた。 ・共助の意識が高い住民は、対策を取っていた。 ・ハザードマップの避難経路が不明確で、また、災害対策がなされていない家庭も散見された。
---	--

研究目的

- 松戸市の市街地の地形の特徴と水害発生との関係について明らかにする。
- 水害の危険性の高い場所においてどのような対策がなされているのかを明らかにする。

結論

- 市街地における災害対策は、かつて甚大な水害を経験していることもあり、かなり徹底にされていた。
- 自治会活動が盛んな町内では、防災意識も高く、協力関係が構築されていた。

★**今後の課題**

- 居住年数の短い住民の防災意識向上に向けての市の取り組みや、各地の地形が大半を占める市東部における災害対策について、明らかにする。

松戸市市街地の洪水対策 ○高等学校1年 A班

キーワード：松戸市、市街地、地形、水害、洪水対策

研究目的

- 松戸市の市街地の地形の特徴と水害発生との関係について明らかにする。
- 水害の危険性の高い場所においてどのような対策がなされているのかを明らかにする。

研究方法

- 松戸市の地理的特性について、**文献やインターネットを用いて調査**を行う。
 - 「松戸市史」、(市勢要覧)、松戸市ホームページ
- 市街地の洪水対策の現状について、聞き取り調査を行う。
 - 市役所職員、新豊川岸自治会所属住民を対象

調査の手順

<p>★文献調査の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川沿いの海拔高度は5m以下。 ・河川の航行が激しい。 ・川沿いは水害の危険性がある。 ・中小河川が縦横に流れる。 <p>↓</p> <p>調査から見えてきたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低地帯で、洪水が起こりやすい。 ・人工堤防以外の洪水対策が不明である。 ・避難経路が不明である。 	<p>★聞き取り調査の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難指示の徹底などを認めることで市民の防災意識を高めるための取り組みを行っていた。 ・古くからこの地区に住んでいる住民は、日ごろから互いに助け合う関係を築いている。 <p>↓</p> <p>調査から見えてきたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体では、人々の防災意識を高めるための様々な取り組みを行っていた。 ・共助の意識が高い住民は、対策を取っていた。 ・ハザードマップの避難経路が不明確で、また、災害対策がなされていない家庭も散見された。
---	--

研究目的

- 松戸市の市街地の地形の特徴と水害発生との関係について明らかにする。
- 水害の危険性の高い場所においてどのような対策がなされているのかを明らかにする。

結論

- 市街地における災害対策は、かつて甚大な水害を経験していることもあり、かなり徹底にされていた。
- 自治会活動が盛んな町内では、防災意識も高く、協力関係が構築されていた。

★**今後の課題**

- 居住年数の短い住民の防災意識向上に向けての市の取り組みや、各地の地形が大半を占める市東部における災害対策について、明らかにする。

原文

訂正文

